

墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画

平成 27 年 6 月

墨田区都市整備部道路公園課

- 目 次 -

1	目的及び位置付け	1
(1)	目的	1
(2)	位置付け	1
(3)	検討対象エリア	2
2	墨田区交通バリアフリー基本構想の概要(平成16年6月)	3
(1)	墨田区交通バリアフリー整備の基本方針	3
(2)	重点整備地区の選定	4
(3)	重点整備地区の区域、特定経路・準特定経路の設定	5
(4)	特定事業計画	5
(5)	重点整備地区以外のバリアフリー化整備方針	6
(6)	地区カルテ	6
3	地域の概況	11
(1)	公共交通機関の現況	11
(2)	公共公益施設等の分布状況	13
4	検討委員会の設置	15
5	優先整備地区	16
(1)	優先整備地区の選定	16
(2)	優先整備地区の現状	17
6	整備対象路線	19
(1)	特定経路及び準特定経路	19
(2)	とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅周辺優先整備地区の整備対象路	19
(3)	両国駅周辺優先整備地区の整備対象路線	20
(4)	ネットワーク路線(連続性の確保)	20
7	バリアフリー化に向けた具体的対応策	22
8	整備スケジュール	24
9	その他の整備	25
(1)	地点名標識の外国語表記	25
(2)	自転車レーンの設置	25

・資料編(参考)

1 目的及び位置付け

(1) 目的

墨田区では、高齢者、身体障害者等が自立した日常生活、社会生活を営むことができる社会を実現するため、公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上を目的として、平成16年6月に「墨田区交通バリアフリー基本構想」を策定し、公共交通機関や道路などのバリアフリー化に取り組んできている。

「墨田区交通バリアフリー基本構想策定」から10年が経過し、特にここ数年では、東京スカイツリー®の開業（平成24年）や両国国技館がボクシング会場として予定されている東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催決定（平成25年）、両国観光まちづくりグランドデザインの具現化など、墨田区の南部地区における今後の観光施策の重要性が高まってきている。

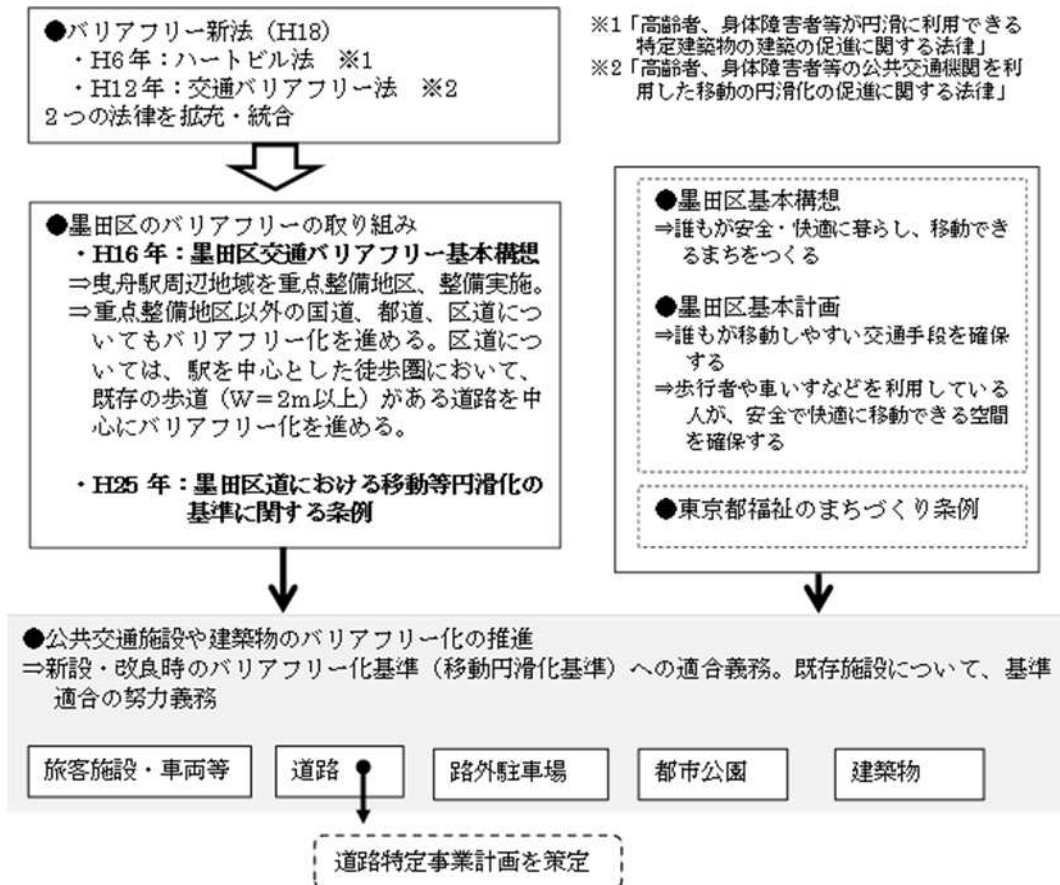
本計画では、今後予定されている様々な観光施策の展開による一層の来街者の増加や人の動きの活発化を見据えながら、誰もが安全で安心して移動できるやさしいまちづくりの実現に向けて、計画的な道路バリアフリー整備を推進することを目的とし、「墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画」を策定するものである。

(2) 位置付け

本計画は、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下「バリアフリー新法」という。）」、「墨田区交通バリアフリー基本構想」、「墨田区道における移動等円滑化の基準に関する条例」に基づき、かつ「東京都福祉のまちづくり条例」を踏まえて策定するものである。

本計画の位置付けを以下に示す。

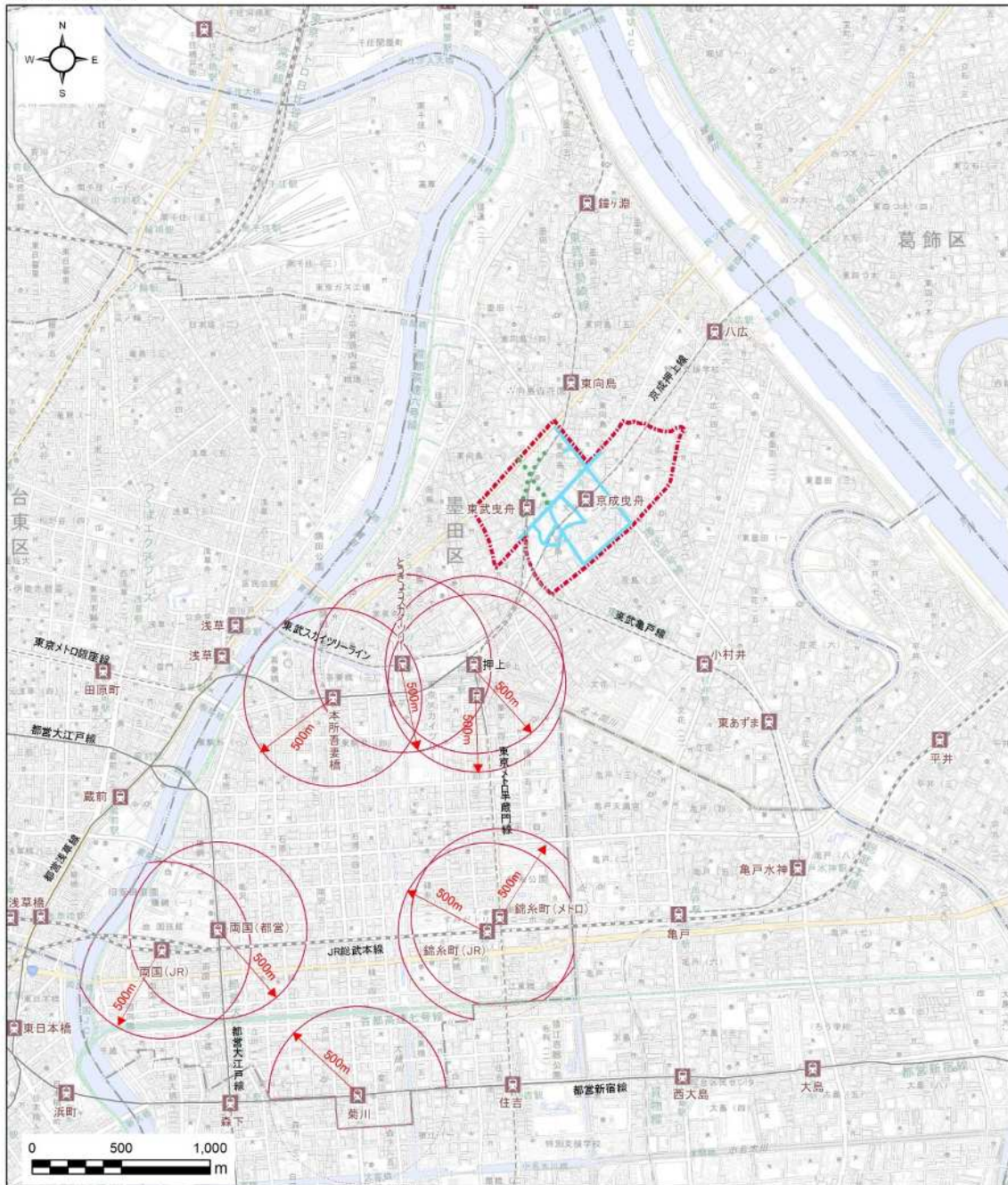
本計画の位置付け



(3) 検討対象エリア

本計画における検討対象エリアは、観光客等が増加している墨田区南部地区のとうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅、両国駅、錦糸町駅、菊川駅の周辺とし、公共交通機関を利用した移動経路を想定し、駅を中心とした徒歩圏（駅を中心に概ね半径500m以内）とする。

検討対象エリア



【H16交通バリアフリー基本構想の重点整備地区】

- 検討対象エリア
- ※ 曳舟駅周辺地区
- 特定経路
- 準特定経路

2 墨田区交通バリアフリー基本構想の概要（平成16年6月）

平成12年11月に施行された「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（交通バリアフリー法）」を受け、だれもが公共交通機関を利用して移動しやすいまちづくりへの取り組みの一層の強化が求められることとなったため、墨田区では平成16年6月に「墨田区交通バリアフリー基本構想」を策定した。

（1）墨田区交通バリアフリー整備の基本方針

基本理念

だれもが移動しやすく、安全で安心な、
ふれあいのあるバリアフリーのまちづくり

基本方針

基本方向	基本方針
ユニバーサルデザインの視点に立ったバリアフリー化の推進	鉄道駅など旅客施設や車両のバリアフリー化を進める。 駅から主要な施設までの主な経路となる歩道などのバリアフリー化を図る。 旅客施設及び周辺道路の整備においては、すべての人にやさしいユニバーサルデザインの視点に立ってバリアフリー化を進める。
区民や当事者等の参画・協働により、身近に感じられるバリアフリー化の推進	当事者である高齢者、障害者、子育て者等をはじめ関係者の参画により、区民の意見をバリアフリー化に反映する。 区民・事業者・行政がまちづくりの担い手としてそれぞれの役割と責任に基づいて、共に協力し、力を出し合う協働によるまちづくりを目指す。
墨田区民の優しさがあふれるバリアフリー化の推進	学校や地域、企業等における人権教育や福祉教育、ボランティア教育の推進により、助け合いの心やボランティア意識を醸成し、高齢者、障害者、子育て者等の社会参加の促進を図る。

(2) 重点整備地区の選定

区内9駅周辺地区ごとに特性を整理し、配置要件・課題要件・効果要件の三要件から整備優先順位を検討し、曳舟駅周辺地区ならびに業平橋・押上駅・本所吾妻橋駅周辺地区を「比較的優先度が高い」地区として選定し、このうち最も要件の適合性が高かった曳舟駅周辺地区を重点整備地区に選定した。

4-3 地区別整備優先順位の検討

今後、重点整備地区としてバリアフリー化をはかるべき地区を、バリアフリー法で示された以下の3つの要件（「交通バリアフリー法の解説」平成12年12月、運輸省、建設省他監修による）を主に考慮して選定する。

- ・配置要件＝特定旅客施設から徒歩圏内（500m～1km程度）に、相当数の高齢者・身体障害者等が利用する施設の所在地を含む地区。
- ・課題要件＝高齢者・身体障害者等の利用状況やバリアフリー化整備状況から総合的に判断して当該事業の実施が必要であると認められる地区。
- ・効果要件＝実施しようとするバリアフリー化のための事業効果の観点から他の地区に優先して、かつ、各事業の整合性を確保してバリアフリー化のための事業が実施されることが、高齢者、身体障害者等に外出の機会を促進するなど重点整備地区のみならず、都市が全体として有する様々な機能の増進をはかる上で適切であると認められる地区。

駅を中心とする9地区について、上記の3要件に適合する地区を選定した結果、以下のとおりである。

・「配置要件」からみた整備の必要性が高い地区：

高齢者や障害者がよく利用する施設として、公共施設や福祉施設あるいは医療施設等の施設数をもっとも多く集積している曳舟駅周辺地区が最も高い地区であり、次いで、東向島駅周辺地区、業平橋・押上・本所吾妻橋駅周辺地区、両国駅周辺地区が高い。

・「課題要件」からみた整備の必要性が高い地区：

駅周辺地区の高齢化率が高いこともあり高齢者数や障害者数が最も多いことと、駅前の幹線道路には歩道が設置されているが自転車の駐車や看板等により狭くなって通り難くなっていることから、東向島駅周辺が最も高く、また曳舟駅周辺地区も同じくらい高い。次いで、業平橋・押上・本所吾妻橋駅周辺地区が高い。

・「効果要件」からみた整備の必要性が高い地区：

広域拠点のなかで曳舟駅周辺地区は、今後の駅周辺の面的開発が予定されており道路整備や街区整備によって駅周辺の歩行空間の環境整備が進むと見込まれることと、北部地区の特色である木造密集地区で未整備の細街路が多い地区で、災害時には安全な避難路として道路のバリアフリー化の必要性が高い地区でもあり、まちづくりと一体的なバリアフリー化整備を行うことによる大きな効果が期待される。次いで、駅南側の区画整理事業が予定されている業平橋・押上・本所吾妻橋駅周辺地区が高い。

以上の検討結果をふまえて、今後のバリアフリー化整備は以下の優先順位で進めることが適当と考えられる。(以下、略)

出典：墨田区交通バリアフリー基本構想

(3) 重点整備地区の区域、特定経路・準特定経路の設定

重点整備地区「曳舟駅周辺地区」の区域、特定経路・準特定経路を下図のとおり定めた。



出典：墨田区交通バリアフリー基本構想

(4) 特定事業計画

上記重点整備地区を対象に 2010 年を目標年次として交通バリアフリー法に基づく施設整備を行うこととし、曳舟駅周辺地区において平成 17 年 3 月に特定事業計画を策定した。

(5) 重点整備地区以外のバリアフリー化整備方針

区内の重点整備地区以外の地区におけるバリアフリー化整備の内容については交通事業者、道路管理者及び公安委員会との協議を行い、方針を定めた。なお、整備時期については重点整備地区の目標年次である 2010 年を目安とするとともに、再開発事業区域内の道路特定事業については、再開発の進捗により 2010 年以降も事業期間として含めている。

道路の整備方針については以下のとおりである。

道路のバリアフリー整備項目

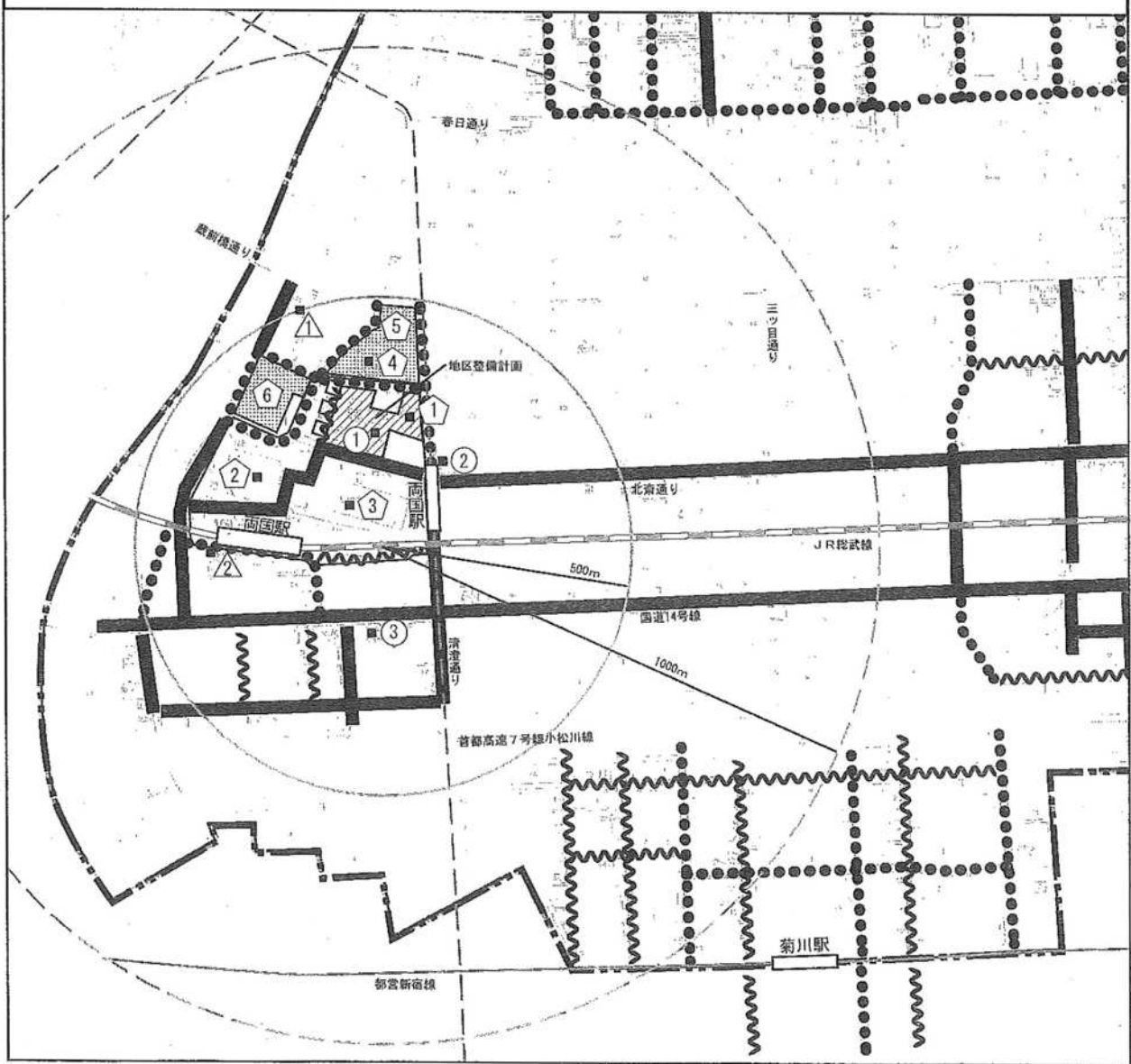
重点整備地区以外の国道、都道及び区道については、以下の方針でバリアフリー整備事業を推進するものとする。

- **国道**は電線共同溝整備と合わせて歩道整備を行っていくことを基本としている。京葉道路については、平成 15 年度末に区内総延長の 9 割弱がバリアフリー化されるものと見込んでいる。また水戸街道については、平成 19 年度以降の電線共同溝整備と合わせてバリアフリー化整備を行う予定である。
- **都道**は、これまでと同様に、路面補修工事にあたっては街渠や歩道の劣化状況に応じて当該箇所のバリアフリー化整備を合わせて行うことを基本としており、点字ブロックの設置、段差の解消、勾配の緩和等、可能な限りバリアフリーに配慮した事業を引き続き進めるものとする。目標年次までに概ね区内の都道全延長の約 4 割については、段差解消等の概ねのバリアフリー化を図ることを目標とする。
- **区道**は、平成 14 年度から路線単位で人にやさしい道づくりを進めている。今後は、駅を中心とした徒歩圏において、相当数の高齢者、身体障害者が利用する施設等を勘案して、車いすが通行できる幅員 2.0m を有する既存道路の歩道を中心としてバリアフリー整備を進めるものとする。

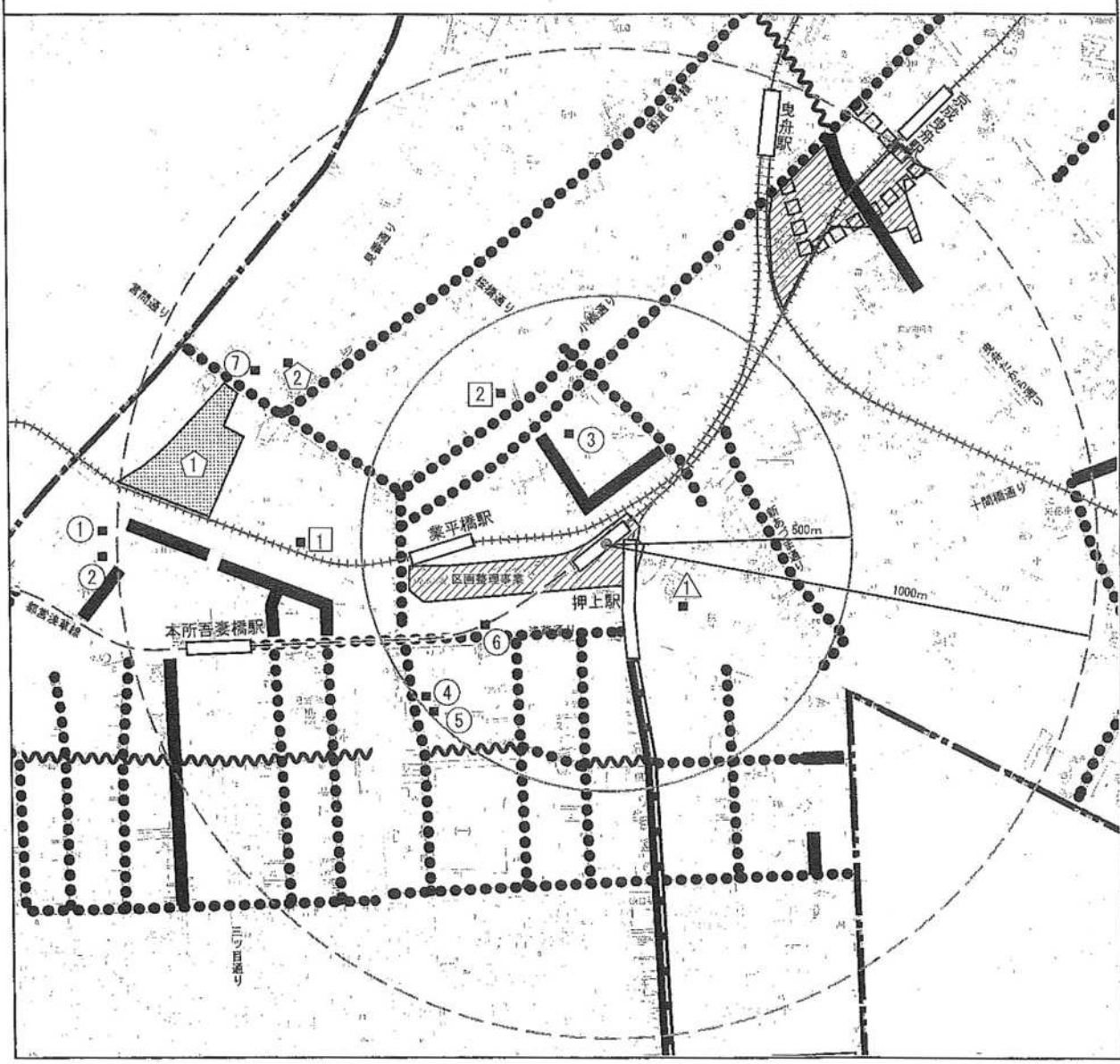
(6) 地区カルテ

交通バリアフリー基本構想では区内全駅圏を対象に駅周辺のバリアフリー整備状況及び整備予定(平成 16 年 3 月時点)を地区カルテとして整理している。今回の検討対象エリアである区南部地区の各鉄道駅周辺の地区カルテを参考に紹介する。

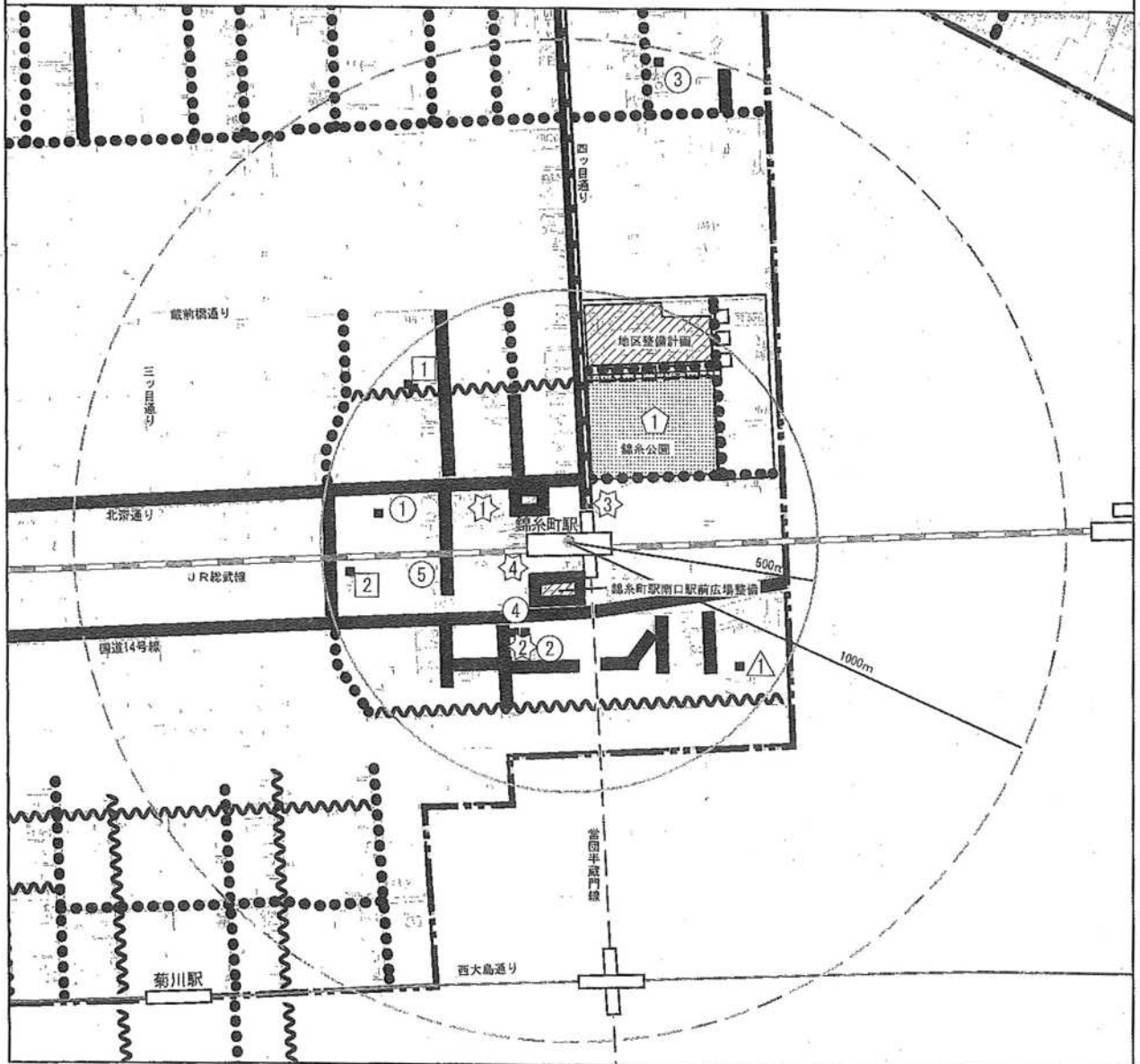
地区カルテ 2. 両国駅周辺		凡例
① 公共施設	① 両国屋内プール・屋内運動場 ② すみだ清掃事務所分室 ③ 本所警察署	●●●●●● バリアフリー計画路線 ——— バリアフリー化済路線 ~~~~~ 歩道新設路線 □ 地区計画区域 □□□□ 道路整備予定(開発による整備予定路線) ▨ 再開発等 ▩ 公園
① 福祉施設		N 0 100 200 300m
△ 医療施設	△ 同愛記念病院 △ 田島病院	
① その他施設	① 国際ファッションセンター ② 国技館 ③ 江戸東京博物館 ④ 慰霊堂 ⑤ 横網町公園 ⑥ 旧安田庭園	
☆ 商業施設		



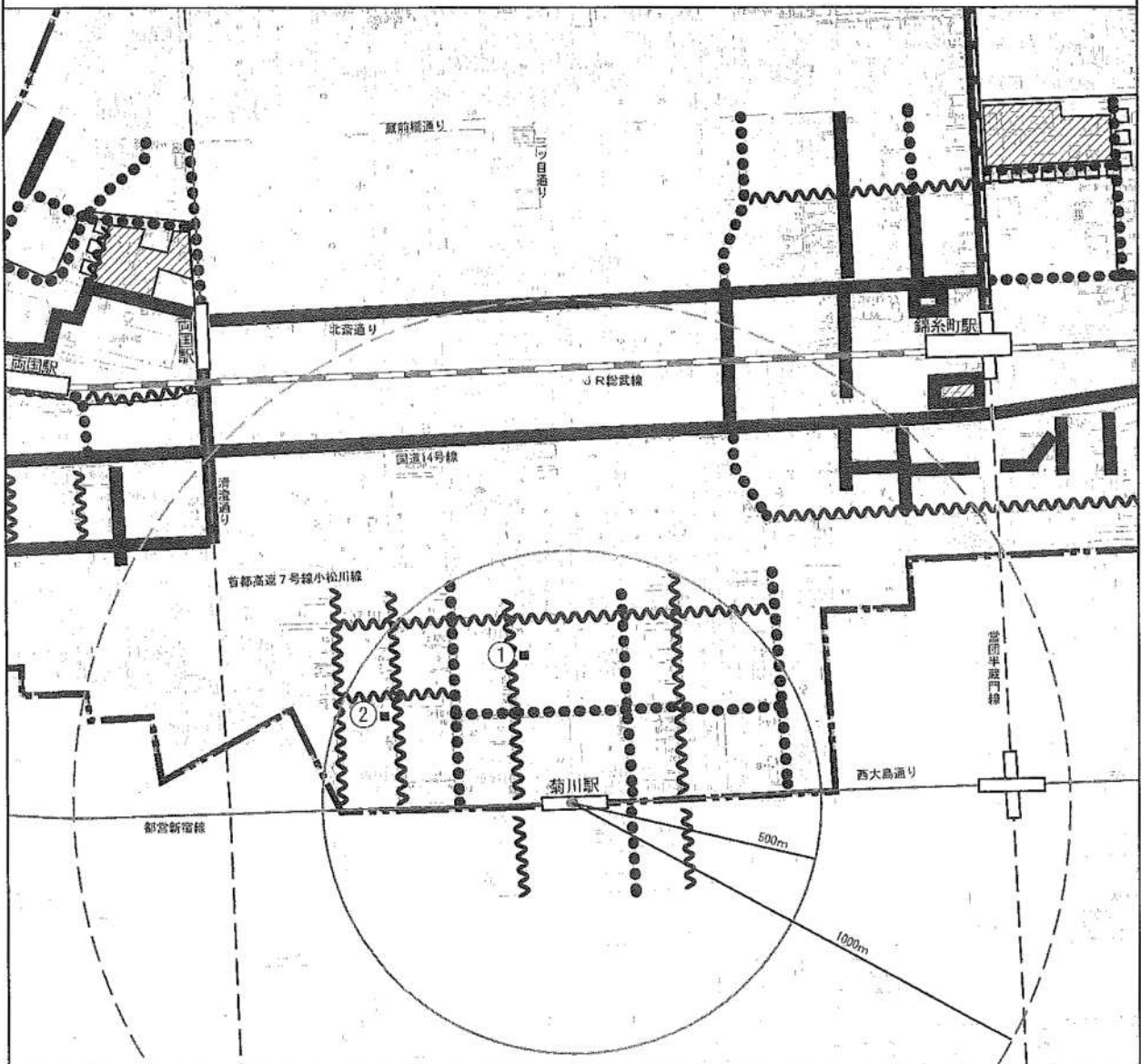
地区カルテ 5. 業平橋・押上・本所吾妻橋駅周辺		凡 例
① 公共施設	①墨田区役所 ②すみだリバーサイドホール ③すみだ女性センター ④墨田都税事務所 ⑤本所税務署 ⑥墨田高齢者就業相談所 ⑦さくら橋コミュニティセンター	●●●●●●●● バリアフリー計画路線 ——— バリアフリー化済路線 ~~~~~ 歩道新設路線 □□□□□□ 地区計画区域 □□□□□□ 道路整備予定 (開発による整備予定路線) ▨▨▨▨▨▨ 再開発等 ▨▨▨▨▨▨ 公園
① 福祉施設	①すみだ厚生会館 ②すみだ福祉保健センター	N 0 100 200 300m
⚠ 医療施設	⚠健生堂病院	
① 其他施設	①すみだ郷土文化資料館 ②隅田公園	
☆ 商業施設		



地区カルテ 1. 錦糸町駅周辺		凡 例
① 公共施設	① すみだトリフォニーホール ③ すみだリサイクルセンター ⑤ ハローワーク墨田	●●●●●● バリアフリー計画路線 —— バリアフリー化済路線 ~~~~ 歩道新設路線 □ 地区計画区域 □□□□ 道路整備予定 (開発による整備予定路線) ▨ 再開発等 ■ 公園
① 福祉施設	① すみだ地域生活支援センター友の家 ② 墨田児童相談所	
△ 医療施設	△ 墨東病院	
① その他施設	① 錦糸公園	
☆ 商業施設	☆ ① アルカキット錦糸町 ☆ ② 丸井錦糸町店 ☆ ③ ロッテプラザ ☆ ④ テルミナ錦糸町	



地区カルテ 7 菊川駅周辺		凡 例	
① 公共施設	① 墨田社会保険事務所 ② 法務局墨田出張所	●●●●●●	バリアフリー計画路線
① 福祉施設		—————	バリアフリー化済路線
⚠ 医療施設		~~~~~	歩道新設路線
① その他施設		□□□□	地区計画区域
☆ 商業施設		□□□□	道路整備予定 (開発による整備予定路線)
		▨	再開発等
		▨	公園
		N	0 100 200 300m



3 地域の概況

(1) 公共交通機関の現況(平成27年3月末現在)

ア 鉄道

墨田区南部地区には鉄道が3路線(JR 総武本線、東武スカイツリーライン(東武伊勢崎線)、京成押上線)、地下鉄が4路線(東京メトロ半蔵門線、都営浅草線、都営新宿線、都営大江戸線)通っている。また、地区内には両国駅(JR 総武本線・都営大江戸線)と錦糸町駅(JR 総武本線・東京メトロ半蔵門線)、押上駅(東武スカイツリーライン・京成押上線・東京メトロ半蔵門線)、とうきょうスカイツリー駅(東武スカイツリーライン)、本所吾妻橋駅(都営浅草線)、菊川駅(都営新宿線)の計6駅があり、このうち両国、錦糸町、押上駅の3駅は鉄道と地下鉄の乗換駅となっている。

平成25年の駅別乗降客数は以下の通りである。

駅別一日平均乗降客数(平成25年)

駅名	路線	一日平均乗降客数(H25)
両国駅	JR 総武本線	75,992人
	都営大江戸線	28,702人
錦糸町駅	JR 総武本線	207,044人
	東京メトロ半蔵門線	92,658人
押上駅+とうきょうスカイツリー駅	東武スカイツリーライン 東京メトロ半蔵門線 都営浅草線 京成押上線	142,412人
本所吾妻橋駅	都営浅草線	17,411人
菊川駅	都営新宿線	22,919人

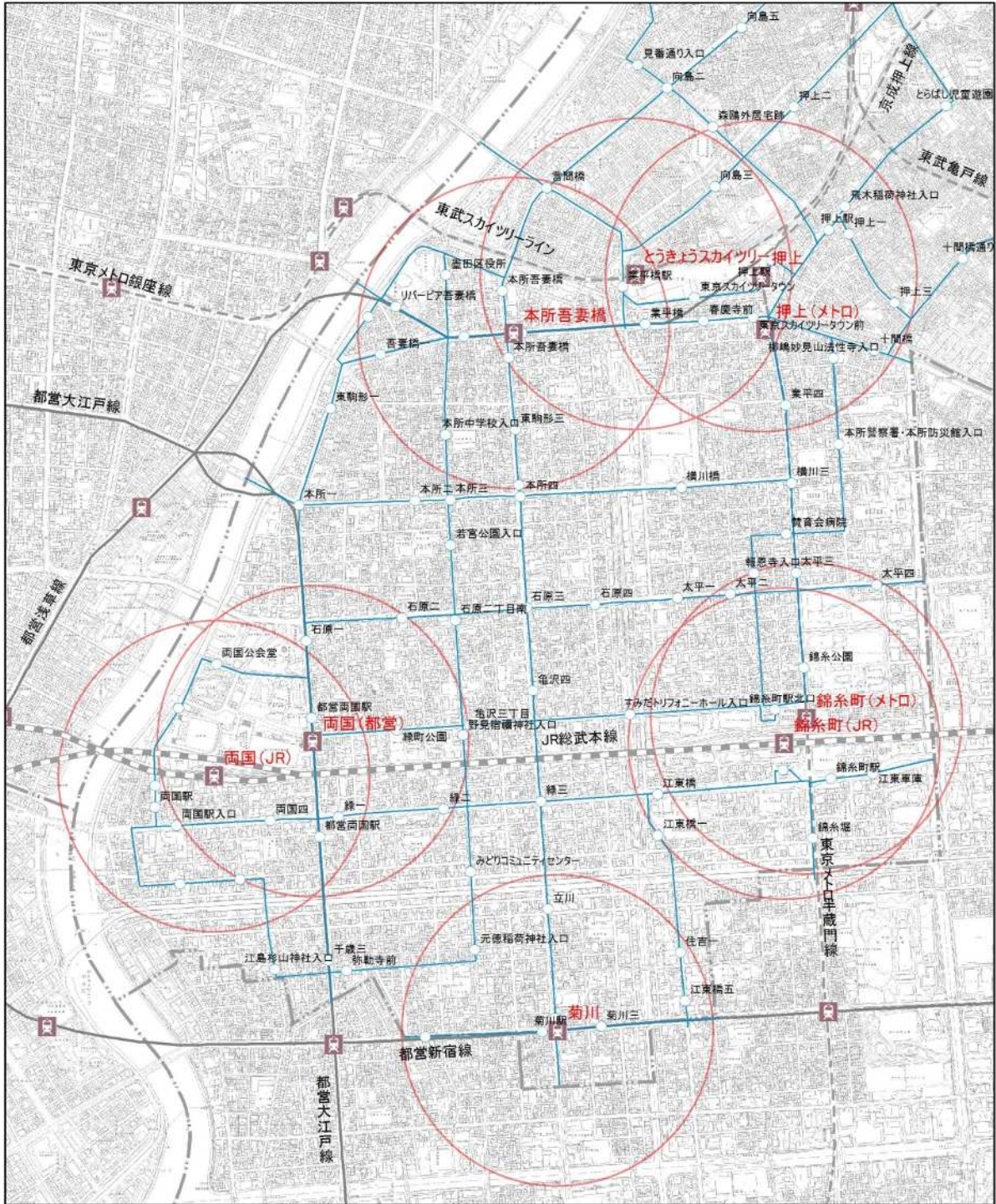
出典：墨田区勢概要2014

イ バス

墨田区南部地区では、国道及び都道を中心に都営バス、京成タウンバスの路線が設定されており、南北方向のバスルートは清澄通り、三ツ目通り、四ツ目通り、東西方向のバスルートは国道14号(京葉道路)、蔵前橋通り、春日通り、浅草通りなどにそれぞれ通っている。両国駅からは小岩駅行、亀戸駅行、葛西橋行などの系統が、錦糸町駅北口からは大塚駅行、日暮里駅行、青戸車庫行、新四つ木橋行などが、錦糸町駅南口からは晴海埠頭行、深川車庫行、新木場駅行、門前仲町行、葛西駅行、両国駅行、亀戸駅行、築地駅行、東大島駅行などが、押上駅からは平井駅前行や上野松坂屋前行、錦糸町駅行、日暮里駅前行などが発着している。また、区役所通りなどに京成バスの区内循環バス路線が設定されており、両国・錦糸町エリアと本所吾妻橋や東京スカイツリーを結ぶ重要な交通手段として機能している。

都営バスは平成24年度末にすべてのバスがノンステップバスになっており、車内には車椅子用のスペースが設けられている。区内循環バスについても、小型車ながら車椅子に対応している。

公共交通機関の現況図



(2) 公共公益施設等の分布状況

高齢者や障害者等を含む全ての人が日常生活や社会生活で利用する生活関連施設としては、以下の施設が挙げられる。

- ア 官公庁等（区役所、税務署、警察署など）
- イ 教育・文化施設（学校、図書館など）
- ウ 保健・医療・福祉施設（病院、老人・障害者福祉施設など）
- エ 商業施設（大規模小売店舗など）
- オ 公園・運動施設（公園、体育館など）

今回の検討にあたっては、特に高齢者や障害者等の利用が多いと考えられる施設として、公共公益施設等、集客施設、主な公園の3種類で分類して検討を行うこととする。

・公共公益施設等

官公庁（区役所、税務署、警察署など）

保健・医療・福祉施設（病院、老人・障害者福祉施設など）

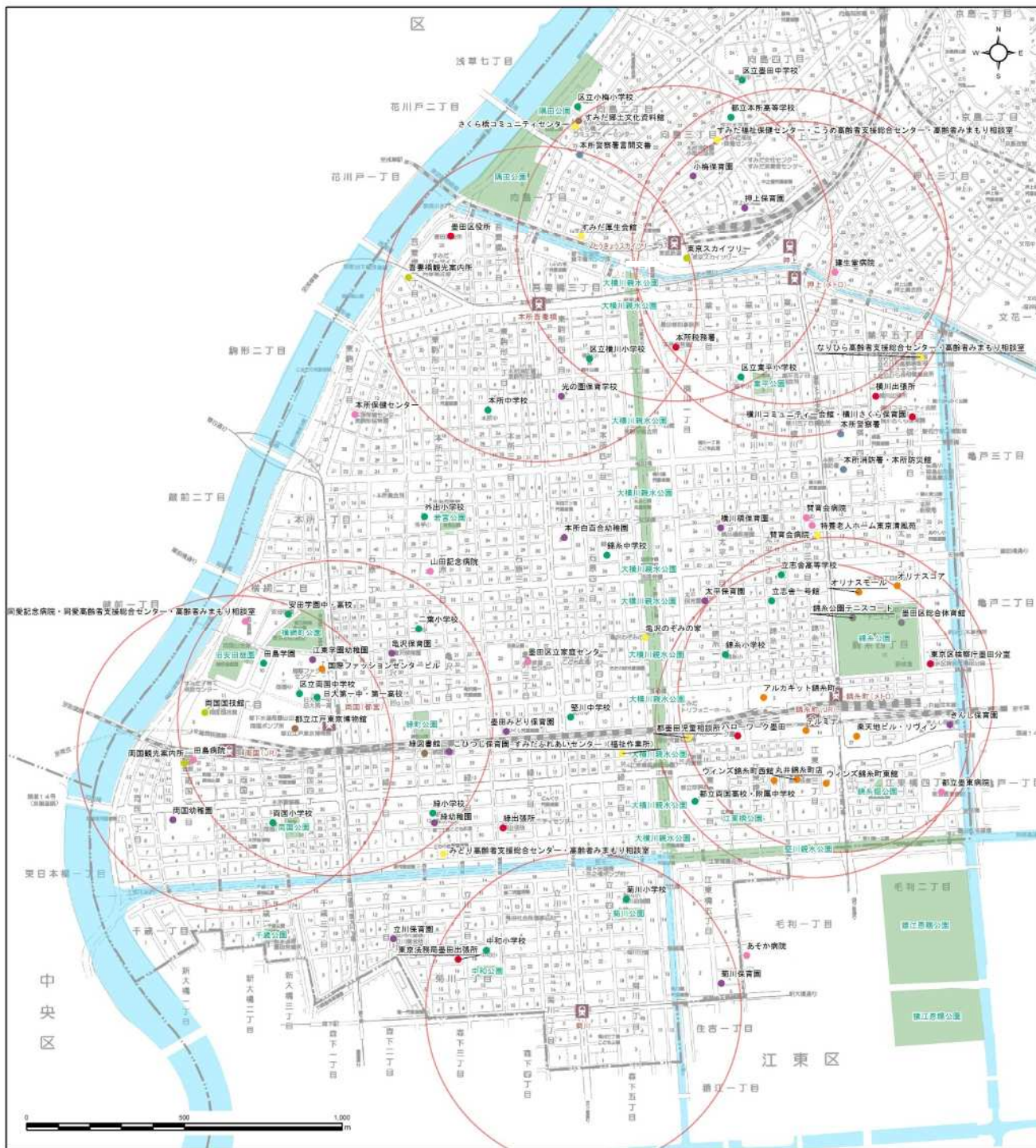
・集客施設

墨田区郷土文化資料館、博物館、東京スカイツリー[®]、観光案内所

・主な公園

横網町公園、隅田公園、旧安田庭園など

生活関連施設



- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>ア 官公庁等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 官公庁(区役所、税務署等) ● 警察署、消防署等 | <p>ウ 保健・医療・福祉施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病院、保健センター等 ● 老人・障害者福祉施設等 | <p>オ 公園・運動施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運動施設(体育館等) ■ 主な公園 | <p>赤丸 鉄道駅</p> <p>青線 水域</p> <p>赤線 駅を中心とした徒歩圏(半径500m)</p> |
| <p>イ 教育・文化施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校(小・中・高) ● 幼稚園・保育園 ● 図書館、博物館 | <p>イ 集客施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大規模商業施設 ● 観光施設・観光案内所 | | |

4 検討委員会の設置

今回の道路特定事業計画の策定にあたって、区内関係団体、道路管理者、交通管理者、バス事業者、庁内関係部署で構成される検討委員会を設置し、道路バリアフリーの整備のあり方や整備対象路線等の検討を行った。

墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画（南部地区）検討委員会名簿

区分	役職
区関係者 (道路管理者)	都市整備部長（座長）
	道路公園課長（副座長）
	都市整備課長
	土木管理課長
区関係者 (福祉保健部) (子ども・子育て支援担当) (都市計画部) (産業観光部)	厚生課長
	障害者福祉課長
	高齢者福祉課長
	子育て支援課長
	都市計画課長
	産業観光部参事（観光課長事務取扱）
	産業経済課長
道路管理者（国道）	国土交通省東京国道事務所 交通対策課長
道路管理者（都道）	東京都第五建設事務所 補修課長
公安委員会	警視庁 本所警察署交通課長
バス事業者	東京都交通局自動車部計画課事業改善担当課長
	京成バス株式会社営業部乗合営業課長
	京成タウンバス株式会社営業課長
区民	墨田区老人クラブ連合会会長
	墨田区障害者団体連合会会長
	墨田区商店街連合会会長
	子ども・子育て会議委員

事務局：墨田区都市整備部道路公園課計画調整担当

5 優先整備地区

(1) 優先整備地区の選定

本計画は、今後の観光施策の展開による人の移動を想定したうえで、早期の道路バリアフリー化を目指した整備計画を策定することを主目的としていることから、社会状況の変化に伴い、優先度の高い以下の2地区を優先整備地区として選定した。

ア 「とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅周辺地区」

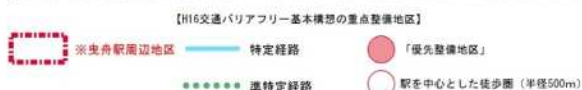
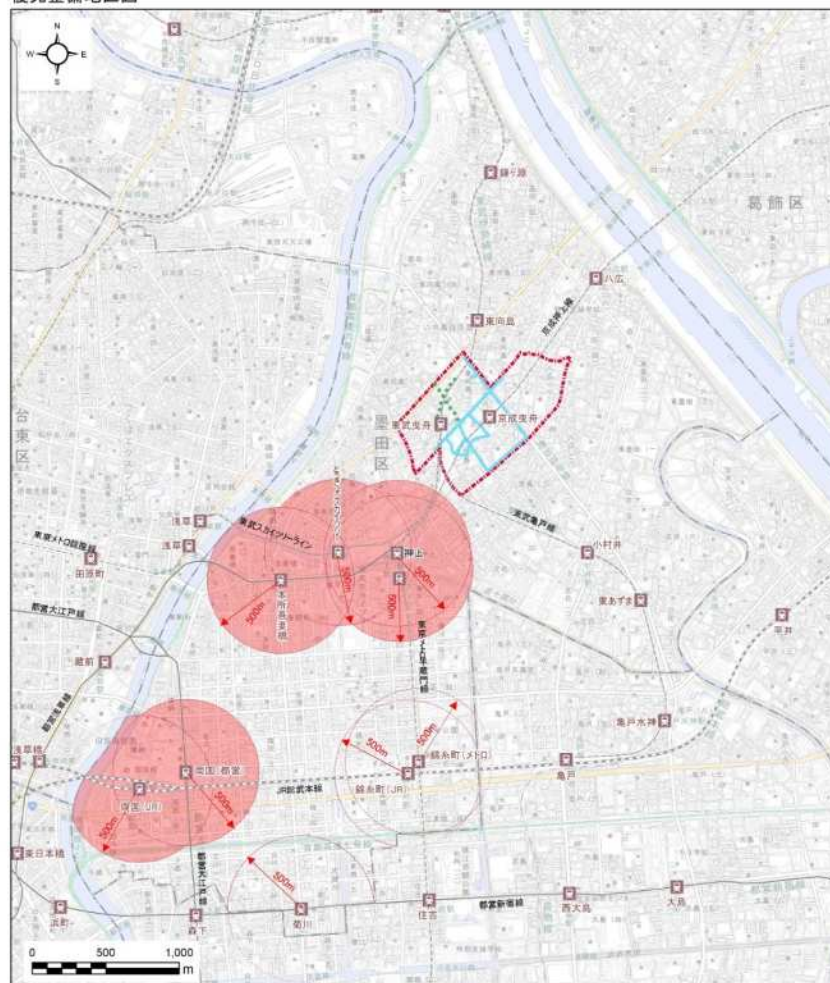
「墨田区交通バリアフリー基本構想」策定時において、既に曳舟駅周辺地区に次いでバリアフリー化の優先度が高い評価であったが、平成24年の東京スカイツリー®開業により、飛躍的に来街者が増加したことから、その優先度は更に高くなっている。

イ 「両国駅周辺地区」

同基本構想において、墨田区南部地区では、「とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅周辺地区」に次いで優先度が高く、今後、すみだ北斎美術館の開館や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、様々な観光施策の展開などによる優先度は高いといえる。

これらの理由から、今回この2地区を「優先整備地区」と位置付け、道路特定事業計画を策定する。

優先整備地区図



(2) 優先整備地区の現状

「とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅周辺」と「両国駅周辺」の優先整備地区において、公共公益施設等の分布等を踏まえた現在のバリアフリー整備状況は、以下のとおりである。

ア とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅周辺優先整備地区

東京スカイツリー周辺の道路については、概ねバリアフリー化が完了しているが、公共公益施設等へのアクセス経路で一部未整備区間がある。



イ 両国駅周辺優先整備地区

駅周辺幹線道路の歩道はほぼ整備されているが、駅間乗換経路や両国国技館の北側エリア、すみだ北斎美術館周辺で未整備区間がある。



【公共公益施設等】

-  鉄道駅
-  バス停・バスルート
-  公共公益施設
-  集客施設
-  主な公園
-  整備済路線
-  検討路線

6 整備対象路線

今回の特定事業計画では、「とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅」及び「両国駅」周辺優先整備地区の駅徒歩圏域において、基本構想の「道路のバリアフリー整備方針」に沿って特定経路等を定め、整備対象路線とする。

なお、隣接地区である錦糸町駅周辺及び菊川駅周辺地区を含めた各駅間においても、観光回遊による人の移動が相当数見込まれることから、それらを結ぶ主要路線をネットワーク路線として位置づけることとする。

(1) 特定経路及び準特定経路

両優先整備地区における現在のバリアフリー整備状況を踏まえ、新たに整備すべき路線として特定経路と準特定経路を設定した。

ア 特定経路

歩道有効幅員が2.0m以上で、高齢者や障害者等が日常生活又は社会生活において利用すると認められる公共施設・福祉医療施設その他の施設を結ぶ主要な経路。

イ 準特定経路

歩道有効幅員が2.0mに不足しているが、特定経路に準じて移動抵抗の軽減を図る必要があると考えられる経路。

(2) とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅周辺優先整備地区の整備対象路線（P21参照）

ア 墨26号路線（小梅通り：言問通り～桜橋通り） 路線番号 特定経路

周辺の公共公益施設等：すみだ福祉保健センター・こうめ高齢者支援総合センター・
こうめ高齢者みまもり相談室、すみだ女性センター

イ 墨49号路線（浅草通り～業平四丁目10番先） 路線番号 特定経路

周辺の公共公益施設等：なりひら高齢者支援総合センター・なりひら高齢者みまもり相談室、警視庁本所警察署、墨田区横川出張所

ウ 墨111号路線（浅草通り～横川一丁目16番先） 路線番号 特定経路

周辺の公共公益施設等：本所税務署、たばこと塩の博物館

エ 墨29号路線（見番通り：水戸街道～すみだ郷土文化資料館） 路線番号 特定経路

周辺の公共公益施設等：すみだ郷土文化資料館、さくら橋コミュニティーセンター

オ 墨112号路線（四ツ目通り～健生堂病院） 路線番号 準特定経路

周辺の公共公益施設等：健生堂病院

(3) 両国駅周辺優先整備地区の整備対象路線

- ア 墨6号路線(国技館通り～京葉道路) 路線番号 特定経路
周辺の公共公益施設等：両国観光案内所、田島病院
JR両国駅と都営両国駅の乗換経路
- イ 墨10号路線(清澄通り～国技館通り) 路線番号 特定経路
周辺の公共公益施設等：同愛記念病院・同愛高齢者支援総合センター・同愛高齢者みまもり相談室、東京都慰霊堂、都立横網町公園、旧安田庭園(刀剣博物館：予定)
- ウ 墨107号路線(北斎通り～京葉道路) 路線番号 特定経路
周辺の公共公益施設等：すみだ北斎美術館、緑町公園
- エ 墨7号路線(両国四丁目37番先～清澄通り) 路線番号 準特定経路
周辺の公共公益施設等：両国観光案内所、田島病院
JR両国駅と都営両国駅の乗換経路
- オ 亀沢2001、2002、2018号路線(緑町公園周辺) 路線番号 準特定経路
周辺の公共公益施設等：すみだ北斎美術館、緑町公園

(4) ネットワーク路線(連続性の確保)

両優先整備地区をはじめ、隣接する各駅間を、誰もが容易に回遊できる連続した歩行空間をネットワーク路線と位置付け、未整備路線については、今後、道路の大規模改修等に併せ、バリアフリー化を図っていく。

- ア 墨109号路線(区役所通り：浅草通り～新大橋通り) 路線番号㉠
- イ 墨46号路線(タワービュー通り：浅草通り～北斎通り) 路線番号㉢
- ウ 墨105号路線(春日通り：清澄通り～四ツ目通り) 路線番号㉣
- エ 墨104号路線(北斎通り：清澄通り～四ツ目通り) 路線番号㉤
- オ 墨111号路線(京葉道路～新大橋通り) 路線番号㉥


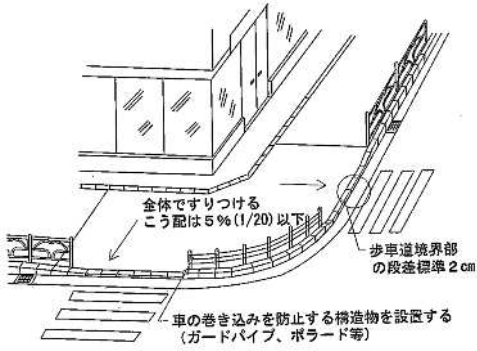
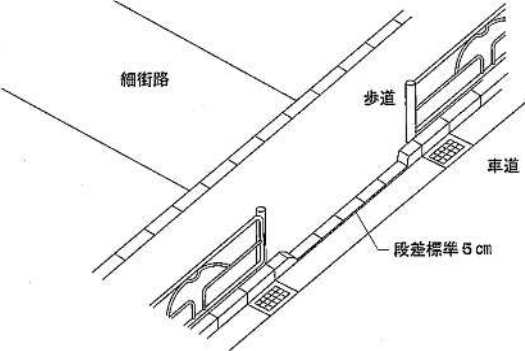
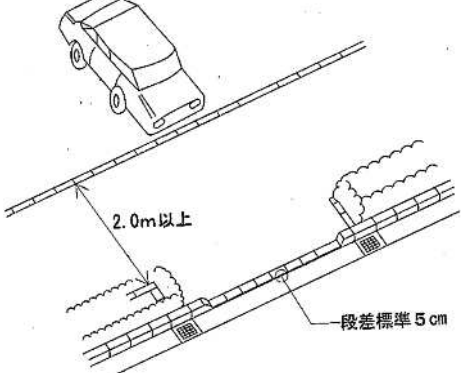


- 特定経路 (歩道あり)
- 準特定経路 (準歩道あり)
- 国道・都道 (整備済)
- 整備済路線
- ネットワーク路線 (未整備)
- ネットワーク路線 (整備済)

- 【公共公益施設等】**
- 鉄道駅
 - バス停・バスルート
 - 公共公益施設
 - 集客施設
 - 主な公園

7 バリアフリー化に向けた具体的対応策

整備対象路線のバリアフリー化に向けた課題の具体例と対応策は以下のとおりである。

課題	対応策	対応策イメージ
<p>植栽ますのある箇所等で有効幅員が確保されていない。</p>	<p>植栽帯の撤去やツリーサークル設置によるフラット化、障害物の撤去等による有効幅員の確保。</p>	
<p>横断歩道擦り付け部の平坦性が確保されていない。横断歩道の歩車道境界部の段差が大きい箇所がある。</p>	<p>区画道路との交差点への歩道の擦り付け部をフラット化することにより、勾配を緩和する。</p>	
<p>細街路交差部の勾配が大きい。</p>	<p>幅員の狭い細街路と交差する場合は、原則として切下げ構造とし、本線の歩道を連続させる。</p>	
<p>歩道切り下げ勾配が大きい箇所が多数ある。</p>	<p>セミフラット化により車道をかさ上げするとともに、民有地からの出入りのために切り下げられている歩道の切り下げ勾配を緩和する。</p>	

8 整備スケジュール

本計画に基づく特定経路、準特定経路の整備期間は10か年とし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでを「前期（平成27～31年度）」、それ以降を「後期（平成32年～36年度）」とした。

地区	経路種別	番号	起点～終点	整備期間（10か年）	
				前期	後期
				平成27～31年度	平成32～36年度
優先整備地区	(1) とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅周辺	特定経路	向島3～向島3		
		特定経路	横川4～業平5		
		特定経路	横川1～業平1		
		特定経路	向島2～向島2		
		準特定経路	押上1～押上1		
	(2) 両国駅周辺	特定経路	横網1～両国3		
		特定経路	横網1～横網2		
		特定経路	緑1～亀沢2		
		準特定経路	横網1～両国4		
		準特定経路	亀沢2～亀沢2		

9 その他の整備

(1) 地点名標識の外国語表記

とうきょうスカイツリー・押上駅周辺については、外国人観光客対応として、優先的に地点名標識を英語表記に改め、両国駅周辺地区においても東京オリンピック・パラリンピック開催までに実施する予定。



(2) 自転車レーンの設置

ネットワーク路線のうち、A(区役所通り)、D(北斎通り)については、自転車の走行環境整備として自転車レーンの設置を検討する。

